

第1・2学年 学級活動(2)イ

学習活動

指導上の留意点

活動 事前の

導入

展開

終末

自己紹介カード作りや、みんなの好きなもの発表会などの活動を行い、クラスにはさまざまな個性を持った友だちがいることに注目することで、本時テーマを題材として設定できるようにする。

日常の活動と関連させると良い。

「“こえ”のうた」をきいて、歌の意味を考えてみよう

- 「“こえ”のうた」を紹介し、歌の目的を簡単に説明する。
- 動画を視聴し、感じたことを発表する。

歌詞を読み解いたり、歌ったりしながら、自然な流れで本時テーマについて考えていけるようにする。

「“こえ”のうた」の歌詞をじっくり読んで、気づいたことを話し合おう

- 自分が気になった歌詞の部分に印をつけ、その理由をワークシートに書き込む。

- 動画を端末で繰り返し見ながら、気がついたことや感じたことを書き出していけるようにする。

「この歌の中ででてる“こえ”って、なんのことだろう」

- ★ “こえ”とは何を示しているのかを対話の中で深めていく。
- 歌詞の意味についてみんなで考え、一人ひとりを大切にすることの良さについて考えられるようにする。
- ※ 「みんなの“こえ”でうたになる」の意味に着目する。

- “こえ”は、個性や権利のたとえであることに気がつけるようにする。
- 自分の“こえ”も、自分と違う“こえ”も、大事にしたいと思えるようにする。
- 一人ひとりを大切にすることが、安心して食べる、遊ぶ、学ぶなど、普通の生活を送るための土台になっていることに気づけるようにする。

- 最後にもう一度みんなで「“こえ”のうた」を視聴し、今日の活動で何を学んだか、どう感じたかを共有する。

「子ども権利条約」は一人ひとりが大切にされるということを約束している

- 一人ひとりを大切にするために、自分に何ができるかを考えてみよう。

- 一人ひとりを大切にすることの意味を確認する。「子どもの権利条約」について知らせ、これから権利について学んでいく中で、本時で設定した自分の行動目標について定期的に振り返るようにする。

板書計画例

歌の中で、「こえ」という言葉はいろいろな個性(考えや気持ち、表現方法など)のたとえとして表現されています。ここでは、「とくべつなこと」「たいせつなこと」など、子どもたちにも理解しやすい言葉に置き換えて、その意味をわかりやすくまとめることが重要です。

歌の終盤、「みんなの“こえ”でうたになる」というフレーズがあります。一人ひとりの特別なことや大切なこと、それぞれに違う“こえ”が集まって自分たちの生活ができていることを、この歌詞や映像から想像豊かに考えていき、自分と他者の“こえ”を大切にしたい、という気持ちが芽生えたとよいでしょう。